

北海道算数数学教育会中学校部会会報

す う が く

北海道算数数学教育会
中学校部会発行
<http://hokusuukyou-cyuu.com/>

第62回 北海道算数 数学教育会研究大会 ～十勝帯広大会を振り返って～

北数教第 6 2 回十勝帯広大会小中高三校種事務局次長
(北数教中学校部会帯広市地区委員)
帯広市立帯広第七中学校教頭 井出 賀津雄

ここ十勝帯広は、日高連峰と大地とが白銀に輝き、青々とした十勝晴れの毎日ですが、北数教会員の皆様には、学年末を控え、何かとご多忙な日々をお過ごしのことと思います。

さて、北数教十勝帯広大会には、会員の皆様方をはじめ、関係機関各位のご理解と深甚なるご支援によりまして無事終了することができ、あらためて感謝を申し上げます。

十勝帯広大会の開催は、中学校としては初めての開催（小学校と高等学校は35年ぶりの開催）であり、組織の母体の無いゼロからの始動でありました。そのため、十勝算数数学教育サークル前会長の青柳正幸校長、三校種運営副委員長の川上松美校長、平野公規校長、会場校の八重柏新治校長、三校種事務局長の畔津正孝校長、中学校部事務局長の宝輪祐子教頭のお力添えをいただき、組織編成と研究体制を整えて参りました。

当初は、なにぶん、部活動や中体連・中文連等の業務があり、放課後に集まり会議を開くことが難しい状況でした。また、十勝管内は広く、車での移動は1時間以上かかる学校も多くありました。このような特殊な事情がありましたが、授業部会、研究部会、会場部会、事務局等、総勢60名を超える組織となり、授業研究や各種の検討がスムーズに推進することができました。

特に、公開授業については、会場校の八重柏校長や渡會崇善教頭、前任教頭の打田陽一校長のご配慮の下、同校の森田明宏教

諭、小丹枝みゆき教諭、山本英司教諭の3名に授業者を引き受けていただきました。そして、16名の授業協力員の布陣を早期に組織し、学年グループ毎の授業研究とプレ研を進めて参りました。会場校の校内研究テーマの「わかる・できる授業の構築」や北数教中学校部会が目指す研究主題「生きる力を育てる数学教育の研究」を主眼に、数学的活動の展開や学ぶ楽しさの追究等、多種多様な検討をし、一同、数学教育の奥の深さをあらためて認識したところです。

大会当日は、公開授業会場や事後研究会場、領域別分科会会場とも大盛況であり、全道各地からの大変高いレベルでの質問や意見、助言者の皆様から貴重なご示唆をいただき、様々な角度からの真剣な論議がなされました。参加者から、「沢山の方から貴重なご意見を聞かせていただき大変刺激になりました」「数学授業が楽しく行われ、明るい中学生に出会えて気持ちが爽やかになりました」など、開催地として、本当に有り難い嬉しい感想をいただきました。

結びとなりますが、北数教本部からのきめ細かなご指導と、助言者の皆様をはじめ、全道の大会参加者の皆様に大きな財産を残していただき、心より厚く感謝申し上げます。今後、次期の大会におきましても、北数教の方向性がより明らかとなり、成果と課題が生かされる大会であるようご期待申し上げるとともに、北数教の益々のご発展をご祈念申し上げます。

「第 63 回 北海道算数数学教育会 札幌大会へのお誘い」**未来を開く算数 数学教育の創造
「生きる力」を育てる数学教育の実践研究**

北海道算数数学教育会 中学校部会副部会長
札幌市立栄町中学校長 藤澤博之

新しい年を迎えて、北数教の会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年の第 62 回北数教研究大会は、十勝・帯広で行われ、会員の皆様方をはじめ、多くの方々のご協力により成功裏に終えることができました。あらためて心よりお礼申し上げます。

さて、わが国の教育は、教育改革のうねりの中で大きく変わってきております。数学に関しては、現行の学習指導要領になってから学力低下問題がマスコミ等でも大きく取り上げられてきましたが、内容面でもっと深く検証する必要があること、子供たちの数学への意欲をどのように高めていくかということが今後さらに大切になってくると思われま

す。新しい学習指導要領は、まだ正式には発表されていませんが、中央教育審議会の教育課程部会の審議のまとめによりますと、「中学校においては、数学的活動に主体的に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、数学的に考える力をはぐくむとともに、数学のよさを知り、数学が生活に役立つことや数学と科学技術との関係などについての理解を深め、事象を数理的に考察する能力と態度を養うことを重視して改善を図っていく」とあります。また、改善の基本方針の中でも、これまでの様々な議論をまとめた内容になっており、具体的な内容で表現されています。

さて、これまでも北数教においては、「未来を開く算数・数学教育の創造」というテーマを掲げ、小・中・高の各部会で授業、領域別

分科会を通して実践研究の積み上げをしてきました。私たち中学校部会においても、『「生きる力」を育てる数学教育の実践研究」ということを研究主題として研究を進めてきました。今の教育改革の流れの中においても、北数教の研究のあり方は数学の本質を見据え、様々な観点から取り組んでおり、北海道の数学教育において、その成果は極めて大きく、数学に携わるものにとって大きな示唆を与えてくれるものになっていると考えています。これは、日常の取り組みを大切に、実際の授業研究を中心として、生徒の視点にたった実践研究を進めてきたからだと思われま

す。今後さらに、生徒が数学の基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、思考力や表現力を高め、学ぶことの楽しさを実感できるようにするために、本大会を一つのきっかけとして研究を進めていくことが必要です。さて、第 63 回北数教大会（平成 20 年度）は、10 月 23 日（木）、24 日（金）の両日にわたり札幌で開催いたします。1 日目の午後から札幌サンプラザで開会式、講習会、部会総会、2 日目は、白楊小学校、厚別南中学校、稲西高等学校でそれぞれ特設授業、領域別分科会を予定しています。会員の日頃の研究成果を交流し、日常の実践に生かせるものになることを願って、現在、研究大会の準備を進めているところです。北海道の数学教育がより一層充実し発展するためにも、多くの方々の参加をお待ちしております。



特設授業を終えて

今回の大会では、幕別町立札内中学校の 3 名の先生が特設授業を発表しました。十勝算数数学教育サークルの広報に寄せられた原稿を掲載させていただきます。

1 年	山本英司先生	「比例と反比例」
2 年	森田明宏先生	「平行と合同」
3 年	小丹枝みゆき先生	「関数 $y = ax^2$ 」

『多くの方に支えられた研究大会』 1 学年授業者 札内中学校 山本 英司

授業をすることになってから、大会当日まで、本当に長かったです。その間に、指導案の変更が 13 回、プリントの変更が 12 回もありました。途中から、何が残っていて、何をやらなくなったのか、わからなくなってしまいくらいでした。

しかし、その分授業の中身が良くなってきているのも事実で、そのおかげで、大会当日はまったく緊張しませんでした。昨年度は、同じ学校の 2 人の数学の先生と協力者の先生方が、色々と真剣に考えた意見を出してくださり、今年度は協力者の先生と大会役員の先生方がたくさんアドバイスをしてくださりました。1 つの授業を作り上げるために、これだけたくさんの方の知恵を集めることは、私自身にとって非常に貴重な体験であり、本当に勉強になりました。

また、事務局の宝輪教頭先生や授業部長の鈴江先生をはじめ、多くの方のバックアップがあったことにも、とても感謝しています。思い起こせば、札内中学校の 1・2 年生はもちろん、帯広南町中学校の 2 年生や芽室中学校の 2 年生にも、今回のプレ研で協力してもらっています。そして、それぞれにその学校の職員の方々にもお世話になっているのです。多くの方々に支えられた今回の研究大会の授業。関わったみなさま、ご協力本当にありがとうございました。



『全道北数教の授業を終えて』 2 学年授業者 札内中学校 森田 明宏

まずは仲間に感謝したい。仲間とは「森田組」。授業部会では、常に出席率が高く、笑いのある話し合い・意見交流ができ、さらには、プレ研も快く引き受けてくれて……。この素晴らしい仲間がいたからこそ、無事に終えることができたこと心から思っている。

さて、本番の授業は予想通りというかやっぱりと言うべきかわからないが、最後まではいかなかった。子どもたちの多様な考えを引き出すために、時間を費やしてしまったからだ。でも、後悔はしていないし、子どもたちのがんばりで何とか無事に終えることができた。終わったときは、開放感でいっぱいであった。

今回の授業研を通して、帯広・十勝の多くの数学の先生と知り合いになれ、今後の教材研究や指導方法について交流できると思う。それを財産にして、これからも子どもたちのために頑張っていきたい。



『研究大会を終えて』 3 学年授業者 札内中学校 小丹枝 みゆき

今、振り返るとあっという間だったような気がしていますが、準備期間は本当に長く感じていたことを覚えています。引き受けることになってから、常に頭の中では「どうしよう……」という気持ちがありました。

昨年の 8 月ころから準備はスタートし、何度も指導案が練られ、昨年度のうちにプレ研も何度か行いました。同じ学校の先生 2 人と協力員の方々には、何度も札内中に足を運んでいただき、本当に感謝しています。その間にも時は流れ、あっという間に大会が 1 ヶ月前と迫っていました。何度か見直しがかけられた指導案で、さらにプレ研を重ね当日に臨みました。

当日リラックスして臨もうと思っていましたが、やはり今までにないほどに緊張していました。ですが、無事終わることができました。事後研でも、沢山の方々の手をお借りしました。その先生方とのコミュニケーションやアドバイスが、私を勇気付け、当日まで支えてくれたのだと思っています。

このような大きな経験が、次の第一歩となっていくのだと思っています。本当に感謝感謝です。ありがとうございました。



領域別分科会 研究発表者と表題

【学習指導法Ⅰ】

- 基調発表 札幌市立西野中学校 宮本 裕 先生
 □鹿追町中高一貫教育における数学 (BS 数学) の取り組み
 鹿追町立鹿追中学校 佐々木敦史 先生
 鹿追町立瓜幕中学校 朝日 誠 先生
 □問題解決的な学習を取り入れた授業の構築について
 ～昨年度の授業の実践を通して～
 当麻町立当麻中学校 在川亜紀子 先生
 □問題解決学習を取り入れた数学的活動の工夫
 ～三角形の合同条件の授業を通して～
 函館市立五稜中学校 水野 温 先生

【学習指導法Ⅱ】

- 基調発表 札幌市立米里中学校 河島 雅生 先生
 □学習意欲を持続させる自己評価について
 恵庭市立恵み野中学校 加藤 隆司 先生
 □生徒がいきいきと学び 自らを高めようとする授業のあり方
 標茶町立標茶中学校 伊藤 拓実 先生
 □学びの目的意識を高める授業をめざして
 ～第 3 学年「 $y = ax^2$ 」の実践～
 北海道教育大学附属札幌中学校 上田 雅也 先生

【問題解決・課題学習】

- 基調発表 札幌市立向陵中学校 細川 敏明 先生
 □問題解決的な学習の充実を目指した授業について
 ～旭教研大会での授業を通して～
 旭川市立明星中学校 虻川 謙 先生
 □数学的な思考力を育む問題解決の授業について
 ～数学的活動から学び、数を楽しむ授業の実践を通して～
 中札内村立中札内中学校 片平 陽介 先生
 □問題解決的な学習における教師の適切なかわりの在り方
 ～問題解決過程とその学習形態に焦点を当てて～
 訓子府町立訓子府中学校 中野 正博 先生

【学習指導法Ⅲ 教材・教育機器】

- 基調発表 札幌市立東米里中学校 本村 光浩 先生
 □小規模校で考える習熟度別学習の課題
 ～視聴覚教材の利用と学習意欲の関係～
 松前町立大島中学校 冬野 恒史 先生
 □一人ひとりのニーズに合わせた基礎・基本の定着を目指して
 ～少人数指導による基礎・基本の定着～
 帯広市立帯広第四中学校 伊藤 聡 先生
 □『モニタリングを強調することによる 効果的な学習指導の実践研究』
 恵庭市立恵明中学校 川端 健裕 先生

<編集後記>

多くの先生方のご協力により、北数教中学校部会会報『すうがく』の第16号を発行することができました。前号(15号)の発送では、転勤された先生のうち、個人情報である、ということで転出先を教えてください、会報をお送りすることが出来なかった先生がいらっしゃいます。この場をお借りしてお詫び申し上げます。 (文責:札幌・美香保中 岡田直也)